

講習日時：令和7年7月30日(水) 9:45～16:10

講習名：知っておきたい！～ウェブ地図「地理院地図」を使った授業法～

参加者：24人

参加者所属

<学校種>		<担当教科等>（複数回答有）	
小学校	13	社会	10
中学校	8	体育、保健体育	3
高等学校	2	国語	
特別養護学校	1	算数	1
無回答	0	総合	1
		道徳	1
<職名>		英語	1
教諭	21	図画工作科	1
学生	1	情報	1
無回答	1	特別支援学級	2
		弱視学級	1

講習を選んだ理由（複数回答可）

1. 受講した人から知った 1
 2. 会場へのアクセスが良かった 1
 3. 講義だけでなく、実習があった 9
 4. 申し込みサイトが分かりやすかった 12
 5. その他
- | | |
|----------------|---|
| 内容に興味があった | 2 |
| 防災教育に活用できると思った | 1 |
| 教科指導に生かせると思った | 1 |

講義内容で評価できること（理解できたこと）

地理院地図の活用方法や利用しやすさがよく分かりました。
地理院地図が防災等に活用できることが知れた。
重ねるハザードマップや登下校ルート等の内容は、小学生でも実用性が高いと思いました。
地図に少し工夫するだけで、色々なことが分かること。
実際に授業で活用できる内容が多くあった。
講義だけでなく、実際にPCを操作する時間も多かったため、より深く理解できたと思う。
書籍も読みましたが、やはり対面実践が理解しやすかった。
教科書には載っていないことがたくさんあり、生徒の興味を引くのに良いと思いました。
ほとんどが新しい情報で、楽しむことができた。

無回答 2

内容で改善すべきこと（わかりにくかったこと）

専門的ゆえに、講義ばかりなことは、集中し続けることが難しかった。
時間の区切り。今しか説明できないという気持ちも分かりますが、私たちは子供に授業時間を守ると言っているのに、休憩時間との区別をした方が頭にも入ると思いました。
プラトールが途中で止まってしまう残念でした。PCのスペックの問題なので仕方ないと思いますが。
実際に授業で活用された事例をもう少し増やしてほしい。
特になし・無回答 19

今後受けてみたい講習の内容（複数回答可）

1. 防災学習（地震）	15
2. 防災学習（水害）	6
3. 上水道学習（ダム）	5
4. 土木遺産学習（測量）	5
5. 資源再生学習（水質）	4
6. 「持続可能な開発目標」	9
7. 地域の交通について	7
8. 身近な公共施設	2
無回答	2

今後受けてみたい講習内容や見学したい場所が具体的にあれば教えてください。

地域教材（先人の治水工事）等を活かして、減災や環境の改善へとつなぐような取組例を知りたい。

Jアラートを含むハザードマップ（校区内）の作成。シェルター、AEDを反映

防災についてのフィールドワーク

今回の学びを通して、実際の実践のプレゼンです。特に、SSHなどではなく、普段使いの実践を知りたいです。

地元にサイフォン橋があって、小学校4年生で学ぶのですが、教師自身がもっとしっかりその歴史やどのような過程で作られたいったのか知りたいと思います。

トンネル・高速道路など、子どもの身近にあるものも、どうやってできるのか詳しく知りたいです。

自分たちが使った水が、最終でどのように処理されているのか直に見たいので、下水処理場を見に行きたいです。

国土地理院への見学。測量・地図作成などの実際を見てみたい。

電子基準点を見てみたい。

ダム関係（水害などで一方的な報道が見られ、権利関係などを通してどうなっているのだろうと思った）

明石海峡大橋についての研修に参加予定だったが、諸事情により行けなくなってしまったので、参加してみたい。

「土木」についてどう思っていましたか？またこの講習を受講して変わりましたか？

道路、交通のイメージでしたが、地形から、減災、将来予測や分析など様々な所で利用されている技術だと思いました。

「土木」という言葉は工事などでしか使うイメージがなかったので、今回の講習でもっと広い意味なのだということがよくわかった。

私ももっていた「土木」という言葉のイメージより最先端なことがどんどん進められていることが分かりました。

測量も含め、とても緻密で繊細なイメージ。全体を見る目も必要だとわかった。

測量だけではなく、最新の防災に関する情報を提供されていることを知りました。

建築のイメージがあったが、地図のことやマップなど身近なことに関わっているとわかった。

もっと単純なものだと思っていたが、技術がたくさん使われており、多くの場面で活用できるツールだと思った。

昔の技術という印象がありましたが、これからは必要であり、様々な可能性を感じた。

土木は自分とは無縁のものというイメージだったが、当たり前にある地図や地震なども関係していると知って驚いた。

構造物、土地の仕事をしている。そのために必要なことが幅広くたくさんあると細かく分かった。

国の安全の要です。その考えは変わっていません。

電子基準点を増やしていき、より緻密な国土の姿を把握し、管理できるようになったのだと今回よく分かりました。

教科（社会）と密接につながりがあると感じました。都市計画のシミュレーションがとても興味深かったです。

自分の父が「土木」に関わる仕事を、県職員として働いていたので身近に感じました。

住居、都市工学の世界を少し知れたように感じた。

細かいところまで正確に地図にする技術があることに驚き、誇りに思いました。

難しいと思っていましたが、直感的にわかりやすいものがあるということがわかりました。

とても細かく正確なものを作っていて、驚きました。

技術の進歩を感じました。

面白いと思っていました。

大切なことだと思います。